

授業科目	発達心理学				単位	1		
履 修	選択	関連資格	高一種免(看護) 養教一種免		ナンバリング	NU11116J		
開講年次	2	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP2-1			
担当教員	中島 俊介							
授業概要	発達とは一生涯を通じた変化のプロセスである。本講義では、各発達段階における発達の特性や発達過程について学び、各発達段階における心の課題や能力の発達とその定型発達について学ぶ。心理介入の技法としての心理療法についても実践できるものをいくつか紹介する。これらの内容を学ぶことを通して、自分自身の発達を考えるとともに、他者への関わり方や接し方についても考えていく。なお、この授業は対面授業として実施する。							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人間の生涯発達における主要なテーマについて理解し、説明することができる。</li> <li>2. 各発達段階における適応上の諸問題やそれに関連する人間関係や社会環境について理解し、説明することができる。</li> <li>3. 生涯発達の観点から、各発達段階における発達の特性を説明することができる</li> </ol>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	50	0	20	0	20	15	100	
知識・理解 (DP1-1)	30	0	10	0	10	5	55	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	20	0	10	0	10	5	45	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
発達心理学の基本的な知識を理解し、現実の様々な臨床場面における考え方に応用できる。				発達心理学の基本的な知識を身につけ、それを人に説明することができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	テーマ:オリエンテーション・発達心理学とは(中島俊介)			講義		復習;当該部分の復習		30

	発達心理学とはどのような学問か、そして発達心理学を学ぶ意義について考える。			
2	テーマ:発達課題とライフサイクル(中島俊介) 発達理論の紹介・人間の一生と発達.	講義	復習;当該部分の復習	30
3	テーマ:人生初期の心理学(中島俊介) 胎児の能力・乳幼児の発達課題	講義	復習;当該部分の復習	30
4	テーマ:学童期・思春期の心理(中島俊介) 勤勉性・人格とは・人格理論の紹介 心の危機をどう乗り越えすか	講義	復習;当該部分の復習	30
5	テーマ:青年・若い成人の心理(中島俊介) 同一性の確立と拡散。親密性の心理	講義	復習;当該部分の復習	30
6	テーマ:発達がい(中島俊介) 学習にかんするハンディー、とADHDについて、その特性について理解	講義	復習;当該部分の復習	30
7	テーマ:成人期そして老いと死の心理。まとめ。(中島俊介) 人生の生きがいと老いと死の課題。授業内容のまとめと振り返り。	講義	復習;当該部分の復習	30
8	テーマ「これまでの学習のまとめと振り返り」(中島俊介) それぞれの学びを交換して未来への展望を拓く。	講義	復習;当該部分の復習 とまとめの学習	30
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				

24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	テレビやメディアで人間の発達に関する事柄や他者とのかかわりについて、視聴するなどして日常生活の中でも意識しながら過ごしてみてください。 授業の内容と関連することも多くありますので、発達心理学への理解が深まると思います。			
テキスト	「こころと人生」 中島俊介(編) ナカニシヤ出版 2000 円。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	講義中に適宜紹介いたします。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	テキストをもとに講義を進めていきますが、学習した内容をまとめなおすことで授業への理解が深まると思います。授業は皆さんとの対話も大切にしながら進めていきますので、積極的な発言を期待しています。			
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	定期試験のポイントおよびレポートの課題は、授業中に適宜お伝えします。達成度評価方法の「その他」は毎回の講義の参加貢献度(意欲・授業中の応答等)で評価します。			

